

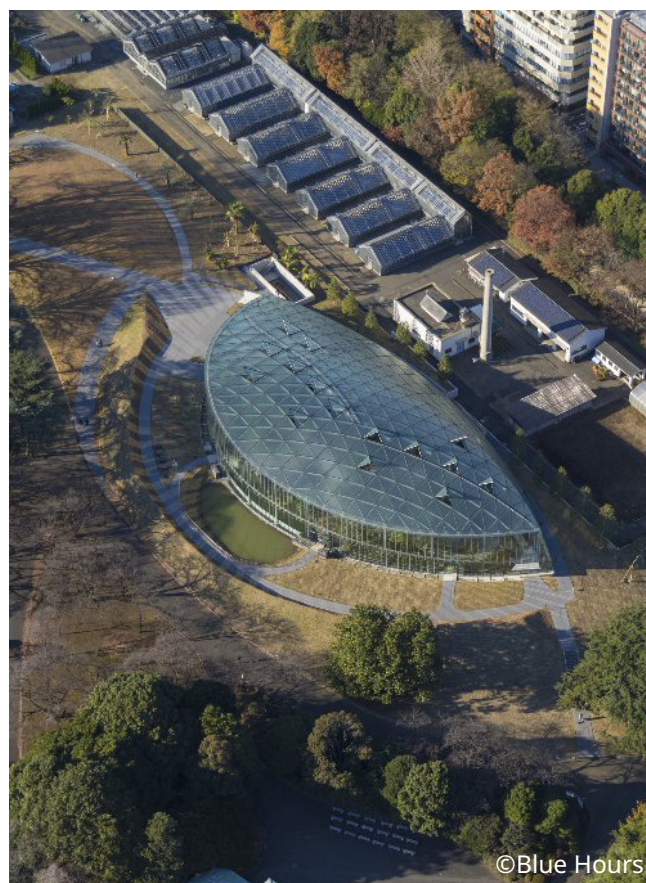
新宿御苑大温室 Shinjuku Gyoen National Garden GREENHOUSE

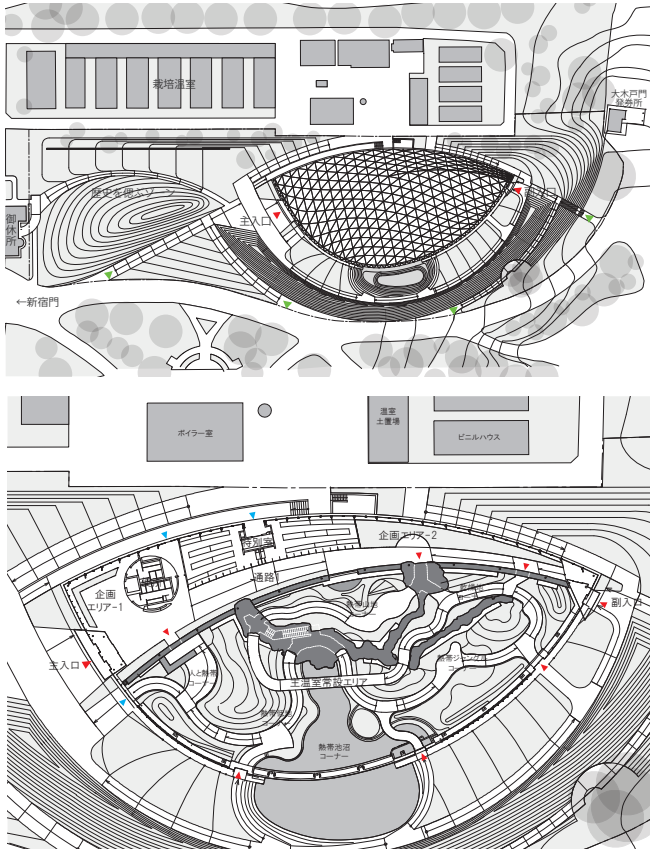
施設用途：温室 / 敷地場所：東京都新宿区内藤町 11 / 敷地面積：583,061.13㎡（都市計画道路含む） / 階数：地上 1 階 /
構造：鉄骨造・鉄筋コンクリート造 / 建築面積：2,497.75㎡（建蔽率 2.19%） / 延べ面積：2,740.41㎡（容積率 2.28%） /
設計：株式会社 日本設計、株式会社 ブレック研究所



新宿御苑大温室の役割

- ① 歴史・文化遺産、植物遺産の評価と継承
 - ・ 既存温室内外の植物遺産の継承
 - ・ 歴史文化遺産の継承（植物以外）
 - ・ 絶滅危惧植物・稀少植物の保護増殖
- ② 環境という視点からの積極的な施策
 - ・ 環境教育の拠点
 - ・ 環境に配慮した施設
- ③ 都市の緑地としての機能の維持と確保
 - ・ 自由な鑑賞動線
 - ・ 新宿御苑との連続性の確保
 - ・ 利用者の安全、快適な利用



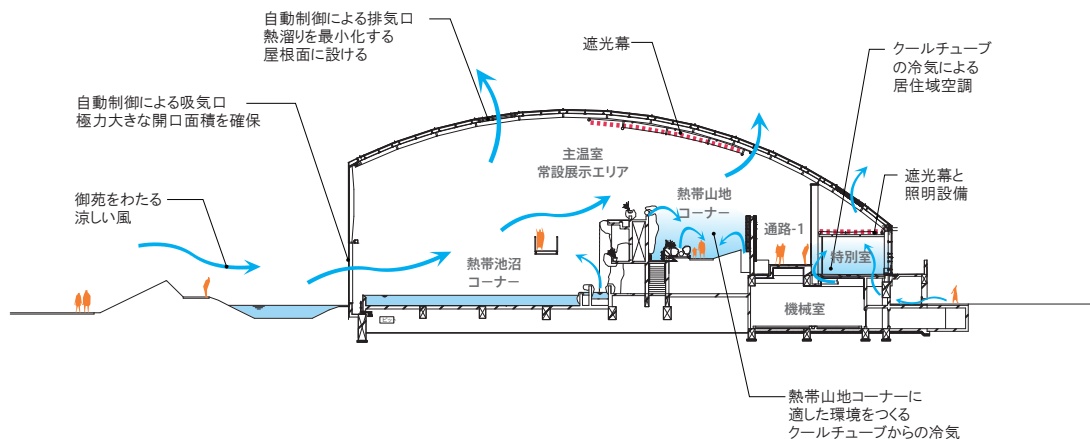


配置計画

- ・計画建物による栽培温室への日影と、周辺高木による主温室への日影に配慮し、計画建物は東側に配置
- ・主温室は植物の生育に必要な採光・通風を最大限確保できる南面に配置
- ・緩やかなカーブを描く苑路を引き込み、苑内動線の結節点からのスムーズなアプローチ
- ・御休所と温室を結ぶ小道を整備。歴史を偲ぶゾーンとして、御苑温室の歴史を展示
- ・将来の施設機能の拡張に配慮し、北側バックヤードへの増築・連携が可能な計画

平面計画

- ・東西の出入口を結ぶように通路を計画し、通路の北側にバックヤードとの連携が重要な特別室、南側に採光・通風、庭園との一体感を重視する主温室常設エリアを配置
- ・順路動線（推奨）ルートに加え、ショートカットと複数の出入口による自由な鑑賞動線
- ・高低差やS字を描く鑑賞通路、トンネルをくぐる演出等による、変化のある植栽展示
- ・絶滅危惧種の保護増殖のため、特別室を設置。通路から植物や栽培作業を観察可能



断面計画

- ・主温室はひとつの大空間とし、植物とその環境が観客を包み込む広がりのある鑑賞空間
- ・環境条件の異なる熱帯山地コーナーを区画せず、他コーナーと一体の空間の中で必要な温湿度環境を形成
- ・雛壇型の植栽展示による立体的で奥行きある景観・通路1から特別室の絶滅危惧植物や栽培作業を観察可能

環境計画

- ・コンパクトで単純な形態で表面積を最小化
- ・ペアガラスによる高断熱外壁を採用
- ・主温室全体に風が渡る自然換気計画で植物に最適な環境形成をはかる
- ・地下土中にクールチューブを設置、熱帯山地コーナー・特別室の空調に活用

